

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【300】
2. 日時：令和4年10月26日 10時00分～11時50分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、
山浦技術参与※

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

藤原技術研究調査官、堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他10名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

5. 要旨

- (1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（耐震計算書（燃料プール冷却系熱交換器等）について、令和4年10月20日の提出資料に基づき説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。
【工事計画に係る説明資料（各クラス機器に関する耐震計算書）】
 - 横置円筒容器の耐震評価（強度評価、固有周期）について、今回設工認のFEMモデルによる評価結果と既工認の評価手法（JEAG 4601の計算式適用）による評価結果とを比較して説明すること。
 - 横置円筒容器の耐震評価について、Bijlaardの方法による応力算出に保守性が含まれていることを定量的に説明すること。
 - 燃料プール冷却系熱交換器の耐震評価における応力の算出に適用する3次元FEMモデルのメッシュサイズの妥当性について、その根拠を含め説明すること。
- (3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
提出資料：
なし